

春ノ八表

とられたるよしを聞てこでいわらは唯へたど一人を

ぐして太刀へたちへばかりをはきてしさい聞

て善悪へぜんあくへをしらず申うくるにおしむも

のならはちり灰へはいへにならんずるよしを

ぞんじてむかふ所へところへにけしきを見て

判官いそぎたちて左右へさうへなくまいらせ

候べしと申てわたしてげりそのとき郎へらうへ

等へどうへおとこをは範清へのりきよへとりえてまりて思

はく無益へむやくへの事なり身をいたづらに